

井川のお正月飾り

もういくつ寝るとお正月♪自分で作ったお飾りで、年神様をお迎えしてみませんか？井川のお正月飾りの作り方を、滝浪英希さんに教えてもらいました。



縄をなう滝浪さん

井川では、お正月飾りは12月28日か30日に飾りつけます。29日は「一年苦勞する」、31日は「一夜飾り」と言って嫌うためです。

神棚や玄関に飾るのはしめ縄。両端には松の枝を差し、間に紙飾りを挟みます。紙飾りは奇数個、又は干支の数を示す12個。向かって右側に太い方、左側に細い方となるようにしめ縄をくくりつけます。

輪飾りは、縫い合わせた縄を輪に結んで作ります。こちらは松を一枝、紙飾りを一つ挟み、葎や台所、洗面所、お手洗い等、日常でお世話になる場所に飾ります。

小正月にはお飾りを外し、ヌルデの木で作る小正月の飾り木「ダイノコ」と入れ替えます。外したお飾りは焼くおうちもありますが、栗などの実のなる木にくくりつけて、豊作祈願してもよいでしょう。

縄をなうのは慣れが肝心。近所の先輩たちに教わるのもいいですね！



しめ縄



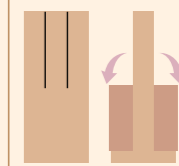
輪飾り



ダイノコ

ダイノコは玄関や神棚などに飾ります。棒状の飾り木の上には、「はたき膳」「お膳」と呼ばれる米粉を練った餅や、赤飯などをお供えます。

紙飾りの作り方



半紙を幅6cmに切り、2枚を重ねる。真ん中まで2本切れ目を入れ、両側を折ります。

＊ ＊ ＊ お正月飾りの作り方



①太めの木の棒で藁の根元を叩いて、はかま(藁の葉の部分)を取ります。藁を柔らかくして、ないやすくします。



②藁を6本くらい束ねて、先がほどけないように結びます。お好みで、藁を足して太くしてもかまいません。



③束を2つに分けて、手のひらでこすって縫い合わせていきます。お好みで、藁を足して太くして縫い合わせて、縄にします。



④紙飾りと松の枝を縄目に差し、できあがり。さあ、飾りましょう。



小川内ひやうどで続く「ひよんどり」

元日の朝、日が昇る前に小川内(井川)では、ひよんどりという火伏ひよんどりの行事が毎年行われます。昔、ひよんどりを行わなかった年には火事が起こったため、それからというもの、



必ず行わなければならないのだとか。

ひよんどりは、「チャラリ」を使った曲げの技術を伝授した「いせそうほう」の墓参りから始まります。その後、公民館で祈りをあげ、役歌を唱和しながら集落の中を列をなしてお井戸まで練り歩きます。列には、集落の人々も加わり、広い辻に来ると提灯



「ネリコミ」の様子

をもつて体をぶつけ合う「ネリコミ」に、見物人が巻き込まれることも。日が昇る頃には、皆家へ戻り、穏やかな気持ちで正月を祝い新たな年を迎えることができるのです。

前号でご紹介した青木美樹さんが中心となりメニューが一新されました。地元の野菜などを使ったサラダバーに加え、漬物バーもあり食事メニューを頼めば食べ放題です。井川名物のヤマメや鹿肉を使ったメニューも残しつつ、地元の人が毎日来ても飽きないよう、日替わりの定食も用意しています。さらにはコーヒーマシンを入れて散策中の休憩スペースとしても楽しめるなど、日々進化中です！

月曜日は19時まで営業しており、夕食・晩酌にちよつと立ち寄れる地元の方の憩いの場にもなりつつあります。

寸又峡温泉街の玄関に位置し、ユネスコエコパークの情報発信する南アルプス山岳図書館。収蔵書籍は全国から寄贈された、山関連のものばかりです。館長を務める遠藤さんはかつて町の保育園に勤務し、たくさんの子どもたちやその家族と接してきた経験から人と会って話をするのが好きで、出会いを

大切にしたいと日頃から心がけているそうです。「寸又峡には、多くの観光客や山好きの方々が、様々な思いを持って訪れます。『来ていただきたい本当にありがとうございます』という感謝の気持ちを忘れず、自分のできる最高のおもてなしをするのが私の仕事です。」と語っていました。また、ここは山好きが集う「奥大井・南アルプスファンクラブ」の拠点でもあります。取材当日は、他県から訪れた会員さんと次に登る山の計画を立てていました。和気あいあいとした山岳図書館は、遠藤さんの人柄が表れているようです。

人々のつながりを支え、また支えられてきたと話す遠藤さん。寸又峡へお越しの際には、山岳図書館でゆったりとした時間を過ごしてみませんか。

(文 篠内亮佑)



川根にもあった「ひよんどり」の由来については、電ひよんどりが降り続いて困ったとき、踊りを踊って電が降りぬように祈ったのが始まりだとか、男女が出会う

機会が少なかつたのでその機会を作ろうとしたなど、諸説あります。昔は川根の多くの場所で行われていましたが、久野脇地区の佐澤薬師で行われたのを最後に、現在では行われていません。ひよんどりにまつわる民話として、久野脇地区と地名地区の男女がひよんどりを通じて出会い、身分差を乗り越えて結婚した話が伝わっています。

南アルプス ユネスコエコパーク 井川ビジターセンターの レストランが リニューアル！

【営業時間】9:00～16:00(月曜のみ19:00まで)
【レストラン定休日】火曜・水曜



寸又峡温泉街の玄関に位置し、ユネスコエコパークの情報発信する南アルプス山岳図書館。収蔵書籍は全国から寄贈された、山関連のものばかりです。館長を務める遠藤さんはかつて町の保育園に勤務し、たくさんの子どもたちやその家族と接してきた経験から人と会って話をするのが好きで、出会いを大切にしたいと日頃から心がけているそうです。「寸又峡には、多くの観光客や山好きの方々が、様々な思いを持って訪れます。『来ていただきたい本当にありがとうございます』という感謝の気持ちを忘れず、自分のできる最高のおもてなしをするのが私の仕事です。」と語っていました。また、ここは山好きが集う「奥大井・南アルプスファンクラブ」の拠点でもあります。取材当日は、他県から訪れた会員さんと次に登る山の計画を立てていました。和気あいあいとした山岳図書館は、遠藤さんの人柄が表れているようです。

月曜日は19時まで営業しており、夕食・晩酌にちよつと立ち寄れる地元の方の憩いの場にもなりつつあります。

寸又峡温泉街の玄関に位置し、ユネスコエコパークの情報発信する南アルプス山岳図書館。収蔵書籍は全国から寄贈された、山関連のものばかりです。館長を務める遠藤さんはかつて町の保育園に勤務し、たくさんの子どもたちやその家族と接してきた経験から人と会って話をするのが好きで、出会いを大切にしたいと日頃から心がけているそうです。「寸又峡には、多くの観光客や山好きの方々が、様々な思いを持って訪れます。『来ていただきたい本当にありがとうございます』という感謝の気持ちを忘れず、自分のできる最高のおもてなしをするのが私の仕事です。」と語っていました。また、ここは山好きが集う「奥大井・南アルプスファンクラブ」の拠点でもあります。取材当日は、他県から訪れた会員さんと次に登る山の計画を立てていました。和気あいあいとした山岳図書館は、遠藤さんの人柄が表れているようです。

人々のつながりを支え、また支えられてきたと話す遠藤さん。寸又峡へお越しの際には、山岳図書館でゆったりとした時間を過ごしてみませんか。

(文 篠内亮佑)

(文 篠内亮佑)

川根の 地域の素材を使った しめ縄・杉玉作り体験



久野脇地区では地区外の人を呼び、しめ縄作りを行うイベントを昨年からは企画しています。お飾りをつけるだけのしめ縄・しめ飾り作りではなく、メインはその土台になる縄を「なう」(縄を一本に縫い合わせる)こと。教えてくれるのは元気な久野脇地区のお父さん達です。参加者は縄をなった後、しめ縄やしめ飾りなど思いのお飾りを作って持ち帰ることができます。(執筆時は11月に開催予定)



日本酒の造り酒屋では新酒が出来た印として、杉玉を軒先に吊るすんだとか。そんな杉玉も、身近にある材料を使って作ることもできます。地名地区の農家民宿「サンゴカントリーともしび」では、毎年11～12月に日を決めて川根の山で取ってきた杉の葉を使い、杉玉づくりの体験を行っています。参加者の皆さんはいつも、自分の杉玉を丸く作ることに夢中！竹のボールに杉葉を隙間なく差し込み、それが終わると丸く刈り取っていきます。休憩や昼食の間も惜しく、一生懸命に作っている方が多いです。自分で一日かけて作った杉玉は愛着もひとしお。そんな杉玉を持って帰り玄関に飾るのは、なんとも風情がありますね。